

高塚政徳 Masanori Takatsuka

テクニカルディレクター

JARTA SSrank

理学療法士 | JATI-ATI | 元ブラインドサッカー日本代表 フィジカルコーチ

主な実績

- 2008年 東16丁目フリッパーズ（少年野球） トレーナー（～2012）
2011年 札幌光星高校野球部 トレーナー（～2015）
2014年 札幌インフィニティーズ（女子アイスホッケー） トレーニング指導（～2015）
2016年 ブラインドサッカー日本代表 フィジカルコーチ（～2021）

主なクライアント

- サッカー 米田隼也（V・ファーレン長崎）、関東1部大学選手、FC Gois U15（チーム） |
バスケット 輪島射矢（アースフレンズ東京Z） | 野球 プロ野球選手（野手） |
空手道 全日本強化選手（男子組手） | ビーチハンドボール 望月ちひろ |
ブラインドサッカー 加藤健人、川村怜、寺西一（日本代表） |
ブラインドマラソン 青木洋子（強化指定選手） |

スポーツ現場では、野球、アイスホッケーのチームトレーナーを経て、サッカー、ラグビーなどの競技にも、活動の幅を広げている。

代表中野と共に、2020年東京パラリンピックブラインドサッカー日本代表チームのフィジカルコーチとして、世界に通用するための選手のパフォーマンス向上を追求した。

JARTAの想いを広げたい

JARTAに出会う以前は、自分が関わっているチーム・選手が良くなればいいというスタンスでトレーナー活動をしていた。目先のことにしか目を向けられず、何をするにしても自分よがりになってしまふことが多い、関わっている選手・チームの成長も、自分自身の成長も思ったようにはならなかった。

JARTAが掲げる「全ては選手のために」という想いは、分け隔てなく多くの人と共有してこそ意味がある。講師として活動することは、認定スポーツトレーナーや受講者の方達を通して、結果的に多くの関係者、選手に影響を与えることができる。

目の前の選手に、スポーツ界に貢献するために、自分にできることを一つずつ積み重ねて行く。